

新体育館の基本設計固まる！

いよいよ新体育館建設に向けての基本設計が完了し、体育館の概要が見えてきました。多くの市民やアスリートが、人と人の絆を結びながら豊かな夢と活力を育み、勝山市の新たなランドマークとして「親しまれ」「愛され」「誇れる」新体育館を目指します。



新体育館の主な概要

- 敷地面積138,000.00㎡（長山公園合わせて）
※うち体育館・駐車場エリア 27,451.42㎡
- 建築面積：5,372.48㎡
- 延床面積：6,623.68㎡ 1階 4,645.37㎡
2階 1,978.31㎡
- 階数・高さ：地上2階、最高18.5m
- 駐車場：一般車両272台、大型バス5台ほか
- 駐輪場：80台

アリーナ機能主な概要

- バドミントン12面、バスケットボール2面、バレーボール3面、フットサルコート1面、テニスコート3面、卓球16面、剣道6面（大きさ57m×38m 高さ13.5m）
- アリーナ周りの4面に固定観覧席1,000席
- ランニングコース（1周約200m）

その他

- トレーニングルーム（多様なトレーニング機器を設置）
- 研修室、会議室を設置（サークル活動等に利用可能）
- 多目的室（エアロビクス等に利用可能）



イメージ図（上）：
アリーナ（2階4面に固定観覧席。その後ろにランニングコースを設置）

イメージ図（左）：
長山公園との一体的整備（相互に行き来できる）

☎ 新体育館整備課
（市民会館2階）
☎88-8122

■新体育館の基本方針

- 競技力の向上と市民の体力づくり・健康づくりのための施設**
 - 基礎トレーニング器具等を整備し、選手の強化・育成が図れる施設とします。
 - 体力・健康づくりの運動講座などにより、市民が気軽にスポーツができる環境の拡充を図ります。
- スポーツサークルの活動ができる施設**
 - スポーツ活動促進のため、各種団体等に活動の場を提供し、自立したスポーツを育む施設とします。
 - 子供から高齢者まですべての市民が、スポーツを通して豊かな交流が出来る環境を創出します。
- 国体や県レベル規模のスポーツイベントが開催できる施設**
 - 大規模なアリーナに観覧席を設置することで、スポーツをする人が快適に、スポーツを見る人が楽しめる施設を目指します。
- 災害時に市民生活をサポートする支援施設**
 - 災害時には、要援護者を収容できる二次避難所としての施設整備を行います。
 - 大規模災害時における救援物資の一時保管、集積場所などの役割に応じた防災設備を備えます。
- 利便性の良さを活かしたイベント施設**
 - 施設の規模や機能また、交通アクセスの良さを活かした多様なイベントが開催できる施設として整備します。

◎建設が始動
いよいよ勝山市民の長年の夢・願いであった総合的な体育館建設が本格的に動き出します。体育館は平成30年度福井国体バドミントン競技会場として選定されたことにより、自然に恵まれた既存の長山公園との一体的利用を視野に入れ、都市公園事業にて体育館を整備します。

新体育館を整備していく基本方針は左の表のとおりです。

◎特色
・シルクをイメージしたアルミ製の外壁で覆い、「繊維のまち勝山」らしさを演出します。また、外壁を2重化することにより、環境負荷の少ない施設づくりを行います。

・屋根からの落雪対策、駐車場の堆雪スペース確保など、雪対策に配慮します。

・日影の影響を抑え、圧迫感を与えない外観計画とし、駐車場での排気ガスや光害対策など、周辺地域に配慮

◎今後のスケジュール
今回、新体育館の基本設計が完了したことを受け、本年12月末までに実施設計を行い、工事を発注する予定です。今年度は敷地造成工事、大用水移設工事等を行い、平成26年度からいよいよ体育館本体工事に着手し、平成28年度オープンを目指します。

平成29年には福井国体バドミントン競技のプレ大会が開かれ、平成30年に国体本番を迎えます。